

平田村公共施設等総合管理計画

個別施設計画

(集会施設編)

策定 平成31年4月1日

改正 令和6年3月26日

改正 令和8年2月17日

第1章 概要

(1) 目的

公共施設マネジメントを推進するためには、今まで行ってきた所管課が管理している施設だけを対象にした維持修繕計画等に基づく維持管理・運営では不十分であり、村が所有する全施設を対象に公共施設の質と量の最適化や長寿命化を推し進めることが大切です。所管課を越えた公共施設マネジメントの実現と、全庁的な取り組みに基づく個別施設のマネジメントを促すことを目的に、平田村公共施設個別施設計画（集会施設編）（以下、「本計画」という。）を策定します。

本計画は、建物系公共施設の簡易劣化調査、所管課への施設の利用状況等のヒアリング結果、ライフサイクルコスト※の算出結果等を基に、質と量の最適化を目指す公共施設マネジメントを推進するため、具体的に適正化する施設、長寿命化する施設を抽出し、今後の方向性を示すものです。

※製品や構造物を取得・使用するために必要な費用の総額

(2) 対象施設

本計画は、「平田村公共施設等総合管理計画」に定める「集会施設」の施設類型の全ての施設を対象とします。

(3) 計画の期間

本計画では、多くの公共施設の余寿命が20～30年であることを踏まえ、中長期的な視点が不可欠なため、公共施設等総合管理計画の計画期間と同様に計画の期間を平成31年度（2019年度）から平成58年度（2046年度）までの28年間とします。

平田村公共施設等総合管理計画が30年周期で更新することに対して、下位計画として、本計画は、10年に1度の周期で更新します。

(4) 計画の進行管理

今後は、本計画に基づき、PDCAサイクルにより進捗状況を管理し、施設の見直しや計画的な改修等に努めていきます。

第2章 公共施設等の現況及び将来の見込み

(2) 保有資産の状況

① 施設一覧

No.	施設名称	行政区	所有区分	建築年度	経過年数	建物構造	延床面積(m ²)	耐震	備考
1	平田村中央公民館	永田	村	1978	39	RC造/CB造/W造	1340.33	×	
2	平田村農業構造改善センター	上蓬田	村	1987	30	W造	400.8	—	
3	平田村高齢者婦人生産活動施設	打違内	村	1993	24	W造	149.84	—	
4	平田村産地形成促進施設	下蓬田	村	1994	23	W造	198.7	—	
5	転作推進研修センター	東山	村	1990	27	W造	105.99	—	
6	平田村林業研修会館	下北方	村	1983	34	W造/CB造	329.27	—	
7	ポケットパークひらた	上蓬田	村	2002	15	W造/CB造	83.16	—	
8	中倉一集会所	中倉一	村	2004	13	W造	144.91	—	
9	乙空釜集会所	乙空釜	村	1982	35	W造	102.13	—	
10	九生滝集会所	九生滝	村	2008	9	W造	121.1	—	
11	鴛子防災センター	鴛子	村	1997	20	W造	148.44	—	
12	上北方集会所	上北方	村	1989	28	W造	127.49	—	
13	小松原集会所	小松原	村	1989	28	W造	102.13	—	
14	西山二集会所	西山二	村	1983	34	W造	102.13	—	

※平田村中央公民館は令和4年度に改築。保健センター機能、フィットネスクラブ機能を集約した複合施設「平田村保健生涯学習施設」として令和5年度に開所。

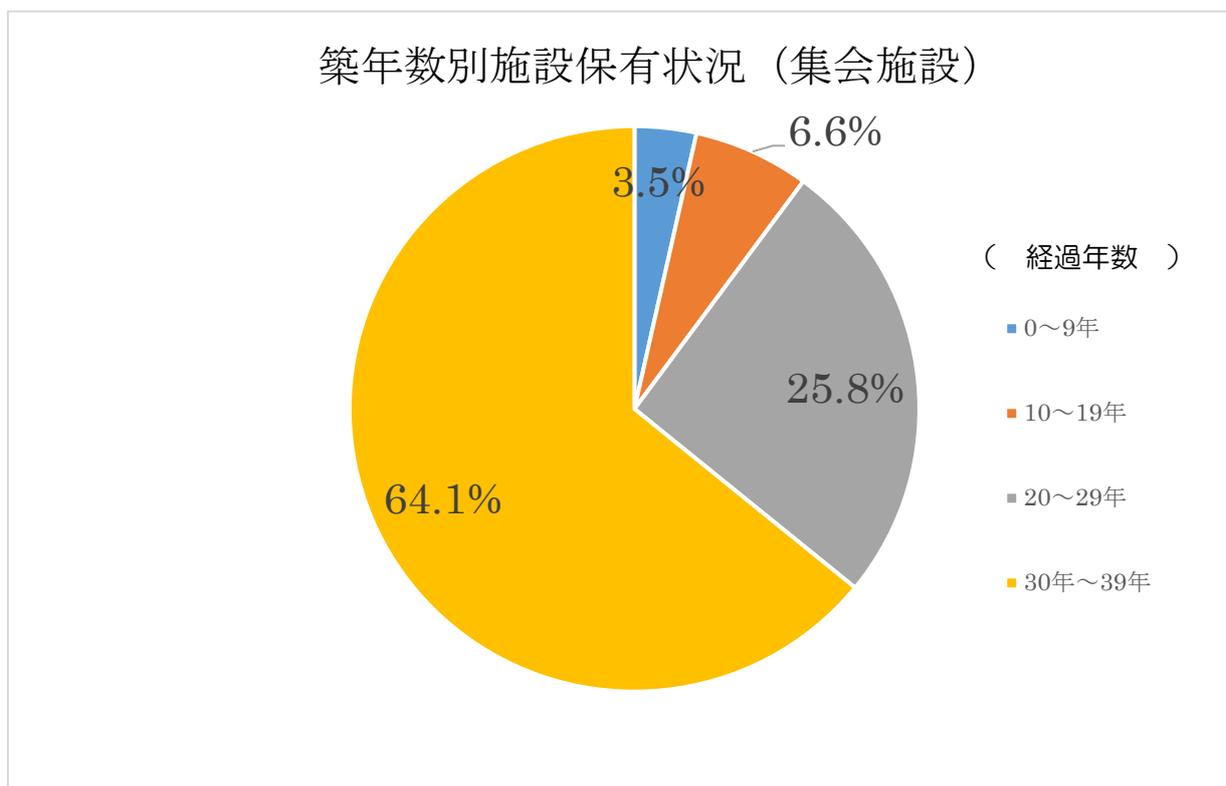
※おだいら交流館を令和4年度に開所。

【凡例】

建築年月	複数の棟がある場合は、主体となる建物の建築年月を表示
経過年数	平成30年3月末現在経過年数
構造	RC：鉄筋コンクリート造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造 S・SL：鉄骨造 W：木造 CB：コンクリートブロック PC：プレキャストコンクリート造
耐震	○：施設の耐久化対策の全ての棟が対応済み △：施設の耐震化対策のうち一部が対応済み ×：未対応 —：耐震化対象となる棟がない施設（昭和56年6月以降に設計された建物）

(2) 老朽化の状況

築30年以上の施設が5割以上あり、施設の老朽化が進んでいます。また、築20～29年の施設も合わせると8割以上となることから、今後老朽化による改修費のさらなる増加が予想されます。



(注1) 棟単位で算出し、施設単位ではありません。

(注2) 2018年3月末時点

(3) 利用状況・利用見込み

現在施設の利用者増減率は、一部の施設を除き減少傾向にあります。
また、利用見込み（利用圏域内の人口推計）は、下記のとおりです。

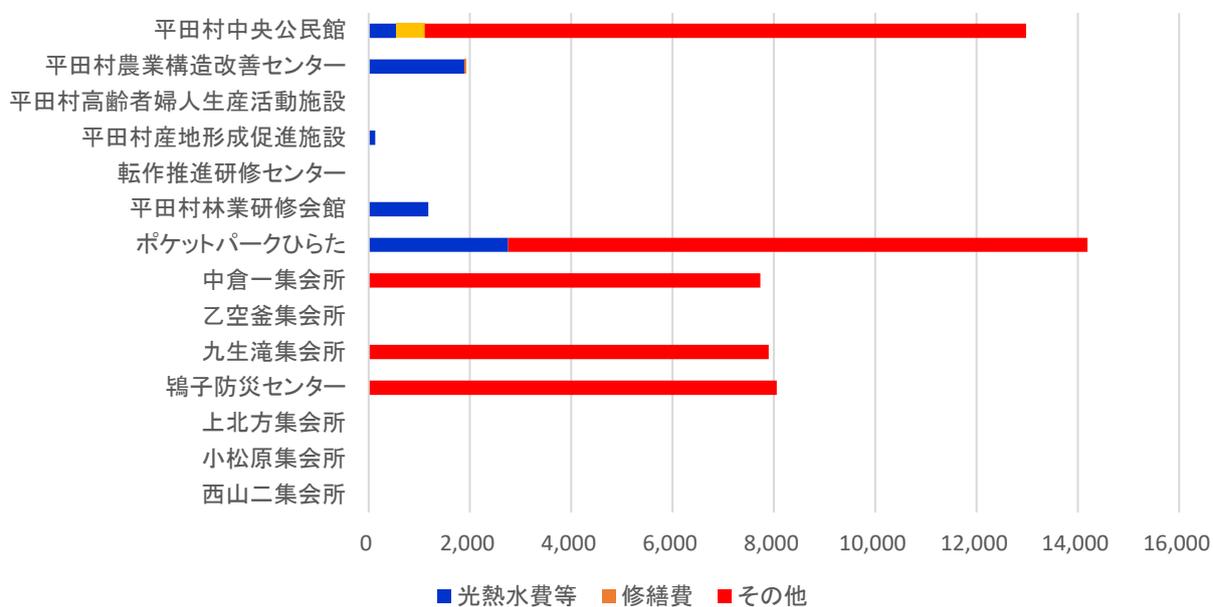
No.	施設名称	利用圏域	利用状況 (施設利用者数)			利用見込増減	備考
			H26	H29	増減率		
1	平田村中央公民館	全域	7,122	10,075	41%	-30%	施設利用者数の推移
2	平田村農業構造改善センター	上蓬田	12,769	11,628	-9%	-30%	施設利用者数の推移
3	平田村高齢者婦人生産活動施設	打違内	489	373	-24%	-30%	施設利用者数の推移
4	平田村産地形成促進施設	下蓬田	606	524	-14%	-30%	施設利用者数の推移
5	転作推進研修センター	東山	420	443	5%	-30%	施設利用者数の推移
6	平田村林業研修会館	下北方	1,482	1,954	32%	-30%	施設利用者数の推移
7	ポケットパークひらた	全域	-	-	-	-30%	集計なし
8	中倉一集会所	中倉一	1,178	912	-23%	-30%	施設利用者数の推移
9	乙空釜集会所	乙空釜	-	-	-	-30%	集計なし
10	九生滝集会所	九生滝	565	624	10%	-30%	施設利用者数の推移
11	鴫子防災センター	鴫子	568	740	30%	-30%	施設利用者数の推移
12	上北方集会所	上北方	-	-	-	-30%	集計なし
13	小松原集会所	小松原	-	-	-	-30%	集計なし
14	西山二集会所	西山二	-	-	-	-30%	集計なし

(注1) 利用見込は次のとおり

2018年3月31日時点の現住人口(6,140人)と2040年の人口推計(4,297人)の比較

(4) トータルコスト

1㎡あたりトータルコスト(平成29年度)



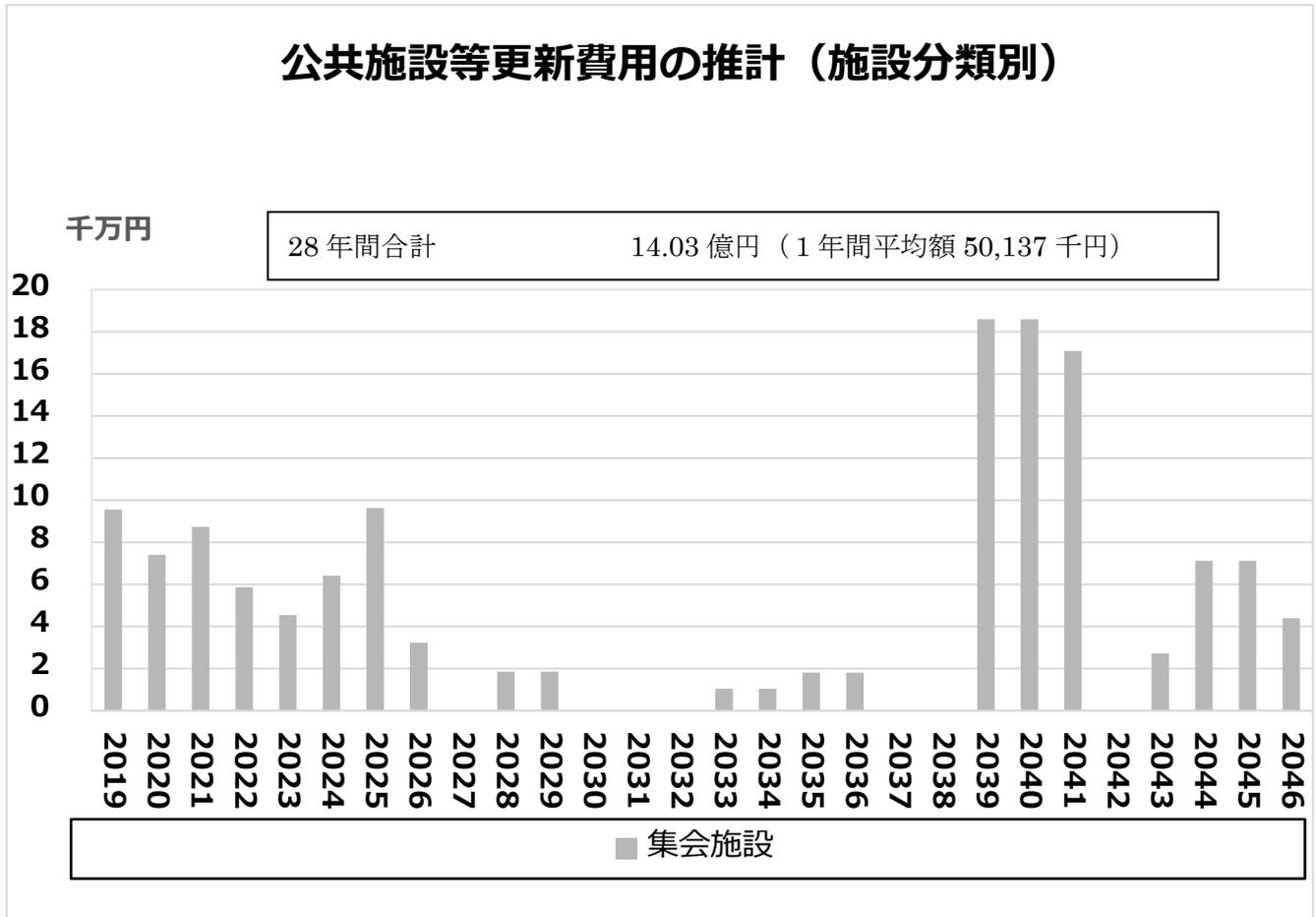
(注) トータルコストは、建物等の管理・運営に要する経費で、人件費、光熱水費、修繕費（維持補修以外の建築工事費を含まない）、減価償却費、その他の経費の合計額。

なお、人件費は、平成29年度決算における職種ごとの1人あたりの平均額を使用

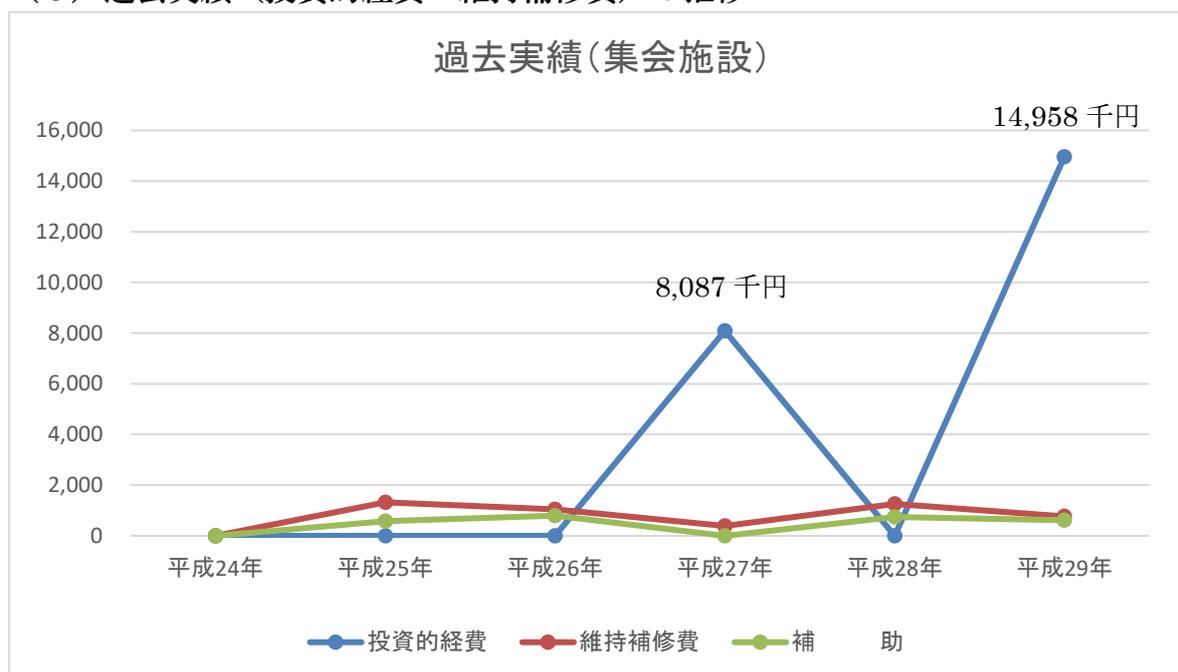
（正職員： 5,416 千円/人、嘱託職員：2,433 千円/人、臨時職員：2029 千円/人）

(5) 更新費用の推計

公共施設等総合管理策定時点の集会施設等を現状のまま維持し続ける場合に必要な更新費用は、28年間の合計で約14.03億円となる見込みである。



(6) 過去実績（投資的経費・維持補修費）の推移



(注1) 災害復旧費を含まない。

(注2) 投資的経費は、各施設に関連する予算科目の細々目事業の工事請負費（単独事業費・補助事業費）、維持補修費は工事請負費（維持補修）・修繕費を集計

第3章 施設類型別マネジメント方針

(1) 施設の役割

集会機能を持つ施設は、個人や団体が、教育・文化の振興、健康・福祉の増進、勤労者の資質の向上等を図ることを目的に設置された施設など、文化活動や地域活動等の様々な活動拠点として利用されている施設です。

(2) 現状と課題

- ① 施設の老朽化に対して部分的補修で対応
- ② 公民館は令和4年度に改築され、保健センター機能、フィットネスクラブ機能を集約した保健生涯学習施設となり、幅広い年代の方が多用途で利用できる施設となりました。集約化、複合化されたことで施設の利用率・稼働率の向上が期待されます。

(3) 今後の施設あり方

既に老朽化が進行している施設もあることから、2046年度（平成58年度）までに築50年に達する施設を優先的に、具体的な検討を開始します。

検討にあたっては、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の総資産の適正化、公共施設等の長寿命化、公共施設の有効活用に取り組みます。

① 公共施設等の総資産の適正化

公共施設のあり方や必要性を村民のニーズや政策適合性、費用対効果などから総合的な評価を行い、適正な公共施設の保有量を実現します。

公共施設の廃止、複合化、集約化、用途変更するなど総資産の維持・縮減に取り組み、廃止に伴う施設の跡地については、売却も含め検討します。老朽化し破損等で利用できなくなった施設は、周囲の環境、治安に影響を与えないように取壊しも含め検討します。

② 公共施設等の長寿命化

公共施設の耐震化をすすめ、長期的な点検・修繕等の保全計画を策定し、施設性能の維持・向上に努めることで、健全な状態を維持しながら長寿命化を図ります。

ライフサイクルコストを縮減し、更新時期の集中化を避けることによって、歳出予算の平準化を図ります。

③ 公共施設の有効活用

公共施設の集約化・廃止等により未利用となった施設や利用見込みのない土地などの資産は、売却や民間等への貸付等を検討し、歳入の確保を図るとともに、地域特性に配慮した機能分担なども検討していきます。

(4) 個別施設方針・検討開始年度

ここで示す方針は、施設の最適化の検討にあたり、施設の建物・サービスの現状分析を踏まえ、個々の施設の長期的な検討の方向性を示します。

具体的に実施方法については、検討開始年度が到来した際に、あらためて詳細な現況分析を行うとともに、住民や利用者との意見交換を踏まえ、検討していきます。

個別計画策定時

施設仕分(評価)

前段階として、サービスの種類について一律に仕分けします。

村以外でもサービス提供が可能

専用の建物または部屋が必要

他施設に類似用途の部屋あり
または独立施設の必要なし

A 民間活用

B 多機能化

C 集約化
・複合化

D 継続

現況分析

施設の「建物」と「サービス」の視点から、採用し、現状把握を行います。

【建物】

- ・主体建物の老朽化状況
(築年数、改修の有無)
- ・耐震性能の有無

比較的良い状態 → I
老朽化が進行している状態 → II

【サービス】

- ・類似施設間での利用状況比較
 - ・過去の利用状況傾向
(施設稼働率、利用者数など)
- 将来利用見込
(利用圏域や地域別人口推計など)

利用状況が良い → I
利用状況に課題がある → II

検討開始時期の設定

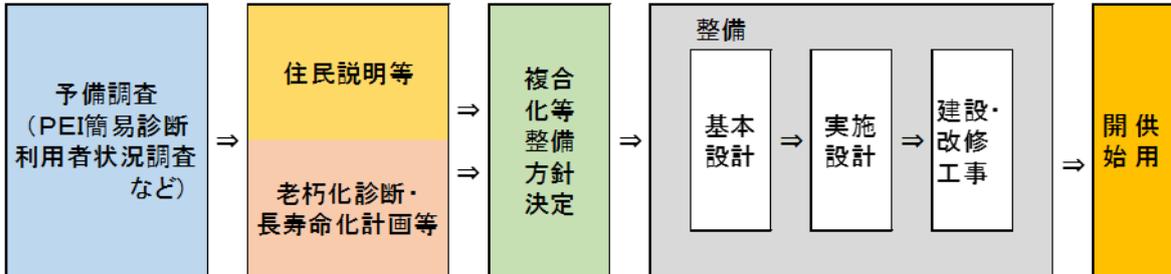
当該施設又は近隣施設の改修・建替時期や指定期間終了などの時期に合わせ設定



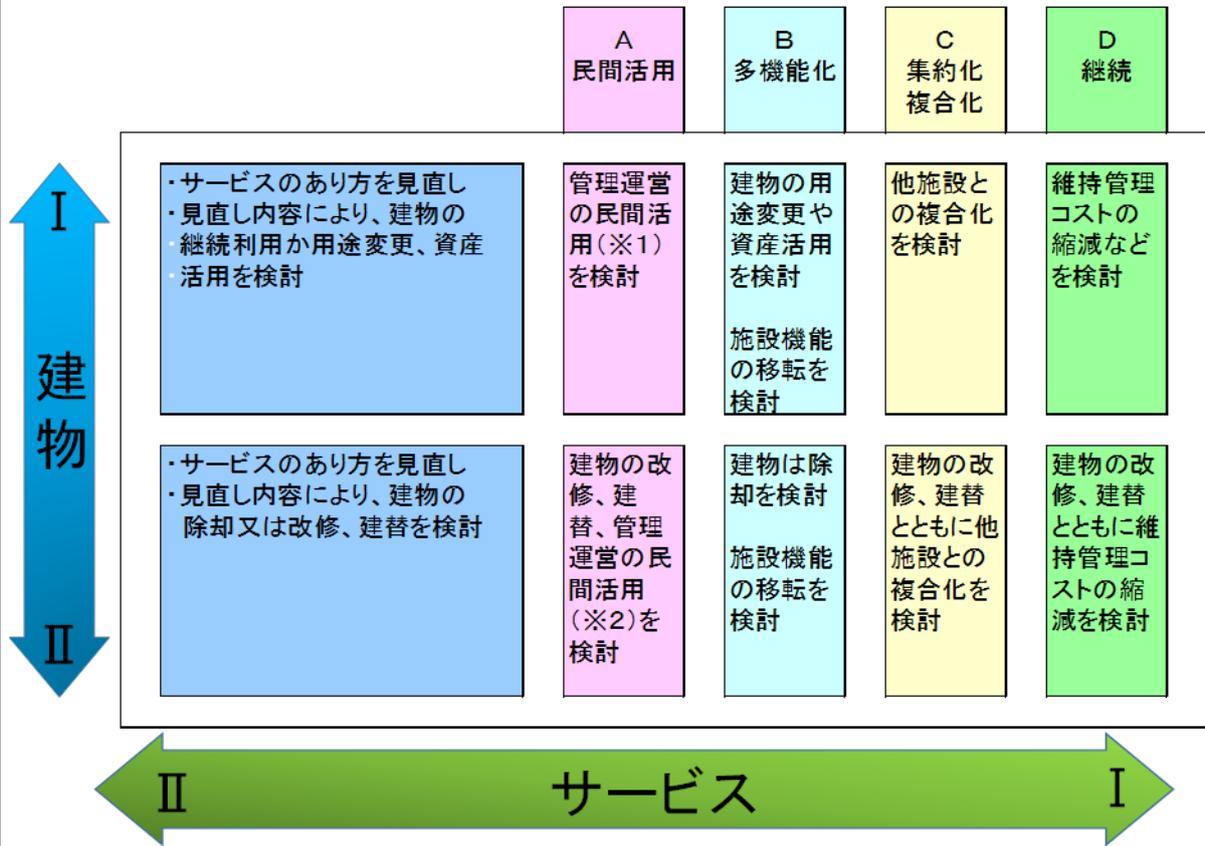
検討開始時期到来後

最新の現況分析や必要な点検診断を行い、住民や利用者とともに、具体的の方針を検討

(具体的な検討・整備の流れ)



(方針検討のイメージ)



※1 業務委託、包括委託、指定管理者制度、民営化など

※2 ※1のほか、デザインビルド（民間事業者に設計、建設を一括して発注する方式）PFIを含む

【個別施設方針】

No.	施設名称	利用 圏域	施設 所管課	現状分析		評価	検討の方向性	検討 開始 年度
				建 物	サ ー ビ ス			
1	中央公民館	全域	中央公民館	I	I	D：継続	集約化・複合化が完了、平田村保健生涯学習施設としてR5～運用開始。	2019
2	農業構造改善センター	上蓬田	産業建設課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
3	高齢者婦人生産活動施設	打違内	健康福祉課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
4	産地形成促進施設	下蓬田	産業建設課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
5	転作推進研修センター	東山	産業建設課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
6	林業研修会館	下北方	産業建設課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
7	ポケットパークひらた	全域	企画商工課	II	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
8	中倉一集会所	中倉一	総務課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
9	乙空釜集会所	乙空釜	総務課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
10	九生滝集会所	九生滝	総務課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
11	鴿子防災センター	鴿子	総務課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
12	上北方集会所	上北方	総務課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
13	小松原集会所	小松原	総務課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
14	西山二集会所	西山二	総務課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2019
15	おだいら交流館	下北方	企画商工課	I	I	D：継続	維持管理コストの縮減などを検討	2022

